

## 東アジア酸性雨モニタリングネットワーク（EANET）中期計画（2021－2025年）について

### 1. 背景

- EANET は、ENAET の透明かつ効率的な活動の更なる推進及びその目的の達成のため、これまで「EANET 中期計画（2016－2020 年）」に基づいて活動を実施し、EANET としての実績を積み重ねてきた。
- 今般、現行の中期計画（2016－2020 年）に代わる新しい中期計画（2021－2025 年）案が EANET の政府間会合において議論され、承認されたもの。
- 新しい中期計画（2021－2025 年）案の作成にあたっては、第 12 回政府間会合（平成 22 年・新潟）において採択された「EANET 強化のための文書」に基づいて検討されてきた、EANET の活動範囲の拡大に関する検討結果を踏まえたものとなっている。

### 2. 中期計画（2021－2025 年）の概要

- 今次会合において、今後の EANET の 5 年間の活動を記載する EANET 中期計画（2021－2025 年）を採択した。主な活動内容は、以下のとおり。
  - （1） 継続的な酸性雨モニタリングの実施、モニタリング手法の改善、データの精度管理、データ管理の実施
  - （2） PM2.5 及びオゾンのモニタリングの推進、モニタリング地点数の増加、能力開発活動等による現行のモニタリングの強化
  - （3） 普及啓発の推進
- 本計画の進捗状況を確認するため、事務局及びネットワークセンターは、2023 年に中間報告書、2026 年に最終報告書を作成し、政府間会合等に提出する予定である。また、必要に応じて、本計画の見直しを行うこととしている。